

こんにちは 石田康高

日本共産党 市議員

です

9月議会で石田康高市議は、市のムダ使いをチェックし、市民要求の実現を迫る議会論戦をしました。そのいくつかを報告します。

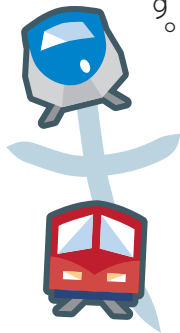


決算議会
報告

折尾地区連続立体交差事業 350億円が487億円に

駅周辺9箇所の踏切をなくし、人とモノの流れを安全でスムーズにするJRの高架化事業に、関係住民は様々な注文は付しつつ、賛成してきました。ところが、H28年度、人件費や資材高騰、施工条件による工法見直し等により、表の様に、事業費350億円が487億円に、137億円・39%も増額となりました。

事業	当初(億円)	変更後(億円)
連続立体交差事業(JR九州負担含む)	350	487
連続立体交差事業(市負担のみ)	315	440
街路事業	280	157
土地区画整理事業	196	196
合計(市負担のみ)	791	793
合計(JR九州負担含む)	826	840



石田議員は、「駅舎の改築や、軌道を高架化する事業費負担割合は、JRは1割で、9割は税金となっており、これまでもJRへの委託事業費が他の事業に比べて高額であると指摘してきました。今回の異常な増額は、納得できるものではない」「その上、整備事業によりJR所有となる高架下の土地などの利用計画について、JRは一切、明らかにしていない。折尾地域住民にも、議会にも期限を切って報告できるようにすべきだ」と指摘しました。当局はJRと協議を強め、早急に計画を示せるよう努力すると、答弁しました。

折尾地域の街づくりにとって、大切な土地の活用は、関係住民の意見も聞き、住民に役立つ施設とすべきです。



国道200号線 別当団地の擁壁対策

市民の要望を受け石田議員が建設局に要請。雑草はきれいに刈り取られ、側溝の改善も今後、取り組まれることになりました。

河川の水位計設置を

7月の九州北部豪雨災害は、山崩れ、土砂と流木による河川氾濫から、住民の生命、財産を奪い取りました。本市を同様の豪雨が襲った場合、河川災害から市民を守る対策の改善が必要です。

市内の主要河川は、国、県、市が管理する河川が260ありますが、内、水位を観測しているのは、14河川で31ヶ所しかありません。

石田議員は、県指定の二級河川の内、流域延長が神獄川(2860m)より長い割子川など8河川は除外されており、早急に水位計を設置すべきと指摘しました。

建設局は、設置に向けて、県と協議すると答弁しました。

FOR ONE MILLION SMILES

100万人の笑顔のために

市議会ニュース

2017・11・19

No.530